

地方都市視察報告書

福祉健康委員会

1 実施日 令和5年11月1日(水)

2 視察地 兵庫県明石市

【市の概要】

(1) 面積 49.42km²

(2) 人口・世帯数

(令和5年10月1日現在)

○人口 305,880人

○世帯数 143,334世帯

(3) 明石市は、東経135度の日本標準子午線上にあり、瀬戸内海に面し、明石海峡をはさんで、淡路島を望む位置にある。

気候は温暖で、古くは万葉歌人柿本人麻呂によって多くの歌が詠まれた風光明媚な地である。さらに、阪神都市圏と播磨臨海地域、そして海を隔てて淡路・四国と結ぶ位置にあり、海陸交通の上で重要な拠点となっている。

瀬戸内海に接する沖合が日本有数の豊かな漁場であることから、古くから漁業が盛んであり、季節ごとに多様な魚が水揚げされるが、なかでもタイとタコは全国でも特に有名である。また、地場産業として、市西部で地下水が豊富に湧き出ることから、この水と近くで収穫される米を使った酒づくりが江戸時代から300年以上にわたって行われている。

昭和35年以降は、企業進出、住宅開発に伴う阪神都市圏からの人口流入などを受け、住宅都市・産業都市としての著しい成長を遂げ、市は「こども」「地域」「安全」「元気」をキーワードに、市民に最も身近な基礎自治体として、市民に寄り添った施策を進めている。

3 視察項目・内容

あかし健康プラン21について

4 視察参加者

【委員】

のづけん委員長	高月まな副委員長	石川孝一委員
かなくぼなな子委員	渡辺みちたか委員	田中ゆきえ委員
豊島あつし委員	川村のりあき委員	中村しんいち委員

【随行】

議会事務局議事係 設楽 拓也 議会事務局調査管理係 長谷川 雅章



5 視察結果・所感

明石市では、「あかし健康プラン21」というプロジェクトを展開し、市民との協同作業を通じて、さまざまな健康推進プログラムを実施している。

市民の健康づくりをサポートするために、知識や技術を学んだ市民ボランティアと行政が協働して健康に関するイベントを開催するなど、市民と一緒に取り組む参加型事業を中心に推進している。「参加型」であり、受け身の取組ではないため、そこからのさまざまな発展的な広がりも期待できる事業となっている。

当然、長期にわたり継続していると高齢化による担い手の引継ぎなどの問題も出てくるようだが、新宿区のような都市型コミュニティに向けては明石市の取組は適切な手法とも感じられた。

また、主体的に活動するボランティア団体を「健康ソムリエ」と命名するなど、スマートで魅力的な印象を醸し出している点も注目された。事業で使用されているさまざまなツールなども、手作り感満載で、とても親しみを感じるものであった。

健康推進施策を成功させることができるかの大きな鍵は、「いかに健康無関心層と言われる人々の関心と呼び込み、施策にコミットメントさせることができるか」とも言えるため、高齢化社会を迎える新宿区においても、明石市の取組は大変に参考となった。

6 主な質疑項目

- (1) 生活習慣病のリスクを高める飲酒量の指標について
- (2) 喫煙率の設定及び受動喫煙防止対策の市内ルール化について
- (3) 健康ボランティアの募集及び養成について
- (4) 非常に高い健診受診率を維持する取り組みについて
- (5) ボランティアを養成するための講座カリキュラムについて
- (6) 予算規模と実績について
- (7) 健康ソムリエ会のイベントで利用される公共施設について
- (8) 従来ボランティアのイメージを一掃するネーミングとそのことによる成果について

7 その他

【共同視察者】

健康政策課長 向 隆志
健康長寿担当副参事 廣井 孝年

